

あなたの「まなび」をナビゲート！ enjoy lifelong learning

# ma·navi

鳥取県生涯学習情報誌



## 特集

# おかげさまで発刊200号！

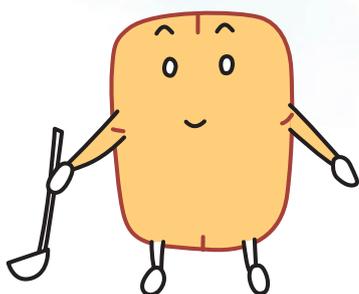
- 04 私たちの活動をご紹介します！  
猫じゃらし
- 05 とっとり県民カレッジ連携講座情報  
(5・6月)
- 19 青谷上寺地遺跡について紹介します！
- 20 文部科学大臣表彰  
社会教育功労者・第74回優良公民館
- 21 鳥取県立生涯学習センター(お知らせ)
- 23 みてみて♪こんなしとるで～

おかげさまで発行200号!

# ありがとう!

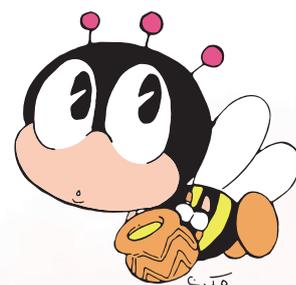
いつも情報誌 ma・navi (生涯学習とっとり) をご愛読いただき、誠にありがとうございます。  
昭和61年に発行が始まって以来、多くの方の御協力により、  
200号の節目を迎えることができました。

そんな節目を迎えた ma・navi について、振り返ってみよう!



鳥取県を愛してやまない  
好奇心旺盛のカレールー  
マナベルウくん

僕たちが紹介するよ!



生涯学習の  
マスコット  
マナビィ

生涯学習と通りのバックナンバーは、県立生涯学習センターホームページの他、鳥取県立図書館と鳥取県立公文書館でも閲覧等できます!

## 県立生涯学習センターホームページ

 閲覧のみ (過去4年間のバックナンバーを掲載)



## 鳥取県立図書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町101 TEL 0857-26-8155

 閲覧の他、貸出も可能 (欠号あり)



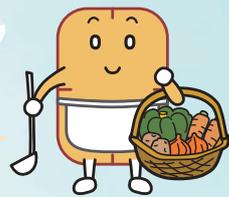
### 検索方法

鳥取県立図書館のホームページ → トップページの蔵書検索 → 「生涯学習とっとり」と入力 → 検索



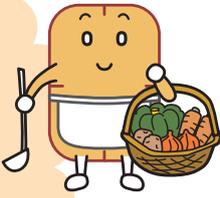
創刊号 昭和61年12月

なんと! ma・navi が 200 号を  
迎えたんだって! 歴史を感じるね~



30年以上も続いているなんてすごい!  
創刊号は1枚ものだったんだね  
92号からはページ数も増えて、年4回  
発行されるようになったんだって。

少しずつ内容も充実してきたんだね  
今は、年6回発行され、県内で開催  
される講座情報も載っていて、学んで  
みたいことがいっぱい! 最近の冊子を見る  
と、表紙がきれいな切り絵になっているよ  
あっ! 182号からは表紙が写真に変わってる!



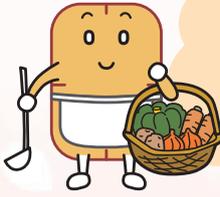
176号 平成30年5月

182号からは、表紙に特集ページで取り上げ  
た団体の写真が使われるようになったよ  
特集ページでは、学んだことを地域で活かす  
取組や、NPO 活動か、ボランティア活動か、地域の  
人が関わる活動などを取材してるんだって。



182号 令和元年5月号

身近な地域の取組についても学べるんだね  
僕の知っている人も載っているかも?!  
これは毎号必読だ!



**取材こぼれ話**

「活動について、取材をさせてほしい」とコンタクトをとると、断られることはほぼありません。自分たちの活動を取り上げてもらえてうれしいと言ってくれることに本当に感謝です! 取材をとおして地域の隅々まで知ることができ、鳥取の魅力ある人に出会うことができ、まさに学びの日々です。

# 取材した団体からうれしいコメントをいただきました♪

191号  
掲載



2016年に結成し今年で7年目ですが、4年間の活動でジオパークに相応しいインフラ整備も進み、景観も見違えるような姿へと変わりました。一通り初期の目的を達成し、5年目以降の団体活動をどう進めていくか模索中で、おおよその方向性は活動範囲を拡大することと、地域の子供たちとの交流活動をイメージしていました。そんな時に生涯学習センターの取材で「生涯学習」を知ることができ、子供たちにジオのこと、地域の歴史、農産物のことなどを教えることで、大人の私たちも共に学習する活動を通じて本来の「生涯学習」を目指すきっかけを頂き大変感謝しております。



鳥取市立福部未来学園ジオ寸劇

浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会〈鳥取市〉

委員長 <sup>かいご</sup> 飼牛 <sup>あきら</sup> 明



196号  
掲載

「見たよ!」「載ってたね!」  
『ma・navi』の特集ページと表紙写真に取り上げていただき、日野町内では公民館、スーパーなどで、そして町外の方からも声をかけていただきました。日野ボランティア・ネットワークのメンバーは、それぞれ様々な活動をしており多分野のつながりがあるので、普段日野町内で

どんな活動をしているのか知っていただくいい機会になり、今後の取組においても新たな連携の可能性が広がったと期待しているところです。



開始から丸20年を迎えた、毎月の高齢者訪問活動

日野ボランティア・ネットワーク〈日野町〉

代表 <sup>やました</sup> 山下 <sup>ひろこ</sup> 弘彦

## ma・navi Vol.200 発行に寄せて

県民の皆様のおかげで、鳥取県生涯学習情報誌「ma・navi」は200号を迎えることができました。本当にありがとうございます。創刊号は昭和61年12月に「生涯教育とっとり」として発行され、平成4年5月発行32号からは「生涯学習とっとり」に名称を変更し、令和元年5月発行の182号からは現「ma・navi」の名称になりました。

鳥取県の生涯学習は、これまでの自己実現、生きがいづくりに加え、学ぶことにより人と人とのふれあいを広げ、地域とつながることをめざしています。新たな学びにお応えできるように、関係機関と連携した幅広い分野の学習情報や学びの成果をいかす場の情報発信、県内外の取組事例の紹介などますます充実させていきたいと思っています。

県民の皆様とともに学び、ともに歩む生涯学習センターであるよう努めてまいりますので、今後ともご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

鳥取県立生涯学習センター館長 <sup>ふるた</sup> 古田 <sup>よしひろ</sup> 嘉博

# 私たちの活動を紹介します

倉吉市

## 猫じゃらし

<代表> 丸本 千尋さん

<連絡先> TEL 090-7139-4697

<設立年> 平成 29 年 4 月

<会員数> 10 名

<活動に関わる専門家>

愛玩動物飼養管理士資格者 2名

第二種動物取扱業登録者 1名

※鳥取県譲渡ボランティア登録に団体登録



猫じゃらしのメンバー

### 会発足のきっかけ

平成 29 年 4 月に「猫じゃらし」というグループ名を付け発足した動物愛護グループです。

発足の 20 年ぐらい前から鳥取県中部在住の大先輩たちが、動物愛護活動を続けて来られ、野良猫の TNR (Trap: 捕獲・Neuter: 不妊去勢手術・Return: 元の場所に戻す) や保護猫譲渡会を開いたり、保護猫を預かったりする活動をしていました。当時はすべての費用を自費でまかなっていた地道な活動でした。鳥取県内で、初の野良猫の不妊去勢手術への公費助成が倉吉市で 2014 年から始まったのも大先輩たちが市役所や町役場へ足を運び続け、行政職員や議員に活動の重要性を訴え続けた結果であると思っています。



現実問題として、ゴミ屋敷状態の家に取り残される猫たち

譲渡会を開くのに名前があったほうが多くの方に親しみを持ってもらえるのではないかと「猫じゃらし」というグループ名を付けたのは 5 年前ですが、活動は平成 9 年ごろから続いています。

### 不幸な猫を一匹でも減らしたい!

私たちは、敢えて「殺処分ゼロ」のような目標の数字は設定せず、人間によって生み出されている「不幸な猫」を減らしていくことを目標に活動しています。

多くの猫の繁殖現場を見てきましたが、猫の問題は人の問題であると実感しています。高齢の独居男性が亡くなりゴミ屋敷状態の家に猫が 10 匹以上取り残されたという案件が心に残っています。家の中に猫の救助に入ったとき、男性が亡くなってから 2 週間過ぎていて、猫も脱水と栄養失調状態でした。残された猫の命は、遺族の責任になるという厳しい現実と直面しました。誰も置き去りにしない地域社会づくりの一環として、野良猫問題が、ご近所同士の助け合いに変わっていただけると嬉しいです。

また、繁殖現場の餌やりさんも苦情のある方も、TNR を終えると、これ以上猫が増えることはないという安心感で笑顔になれる方が多いです。安心して暮らせる地域づくりに貢献できることは活動の励みとなっています。

### これからのこと

不幸な猫を一匹でも減らすために、野良猫の繁殖を防いでいきたいです。5 月～6 月は、春に生まれた子猫の保護依頼が急増します。すべての猫を保護してもキリがないのが現状です。子猫が生まれる前に不妊去勢手術を推進していきたいです。

### 猫じゃらしでは、保護猫の預かりボランティアとミルク猫ボランティアを募集しています。

保護猫譲渡会を毎月第 1 日曜日と第 3 日曜日、午後 2 時～4 時まで、倉吉福祉センターにて開催しています。猫と一緒に暮らしてみたい方、ご来場ください。

保護猫と暮らすという選択肢が大きな社会貢献に繋がります。よろしくお願いします。